

研究に関する情報公開

<人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針>に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者※の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の<お問い合わせ窓口>までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

<研究課題名>

初診時原発不明骨転移の原発巣診断についての検討

<研究機関・研究責任者名>

日本大学医学部附属板橋病院 整形外科 (研究責任者) 小島 敏雄

<研究期間>

承認日 ~ 令和 10 (西暦 2028) 年 3 月 31 日

<対象となる方>

西暦 2010 年 1 月 1 日～西暦 2027 年 9 月 31 日の期間に整形外科で骨腫瘍を指摘され、体のどこかに癌がある可能性のため全身の精密検査を受け、骨腫瘍が転移性骨腫瘍であると診断された方

<研究の目的>

癌になったことのない成人患者さんにおいて、痛みやしびれで整形外科を受診してレントゲンを撮ったら骨腫瘍が見つかってしまうことがあります。このような時は、ほかの内臓のがん細胞が血流によって飛んできて『骨転移』してしまったことを想定して、体のどこかに隠れているがんを探する必要があります。その検査方法はどれをどのタイミングで行えば正確か、わかっていません。

これまでに診療したこのような患者さんの診療情報を調べさせていただき統計学的に解析します。解析結果から、今後同じような患者さんを診察する際に正確かつ効率のよい診断が行えるような方法を築き上げ、発信していくことが本研究の目的です。

<研究の方法>

体に隠れているがんを探すために行った検査の情報を用いて、どの検査が、またどの検査の順番、組み合わせが最も正確で迅速にがんを発見できたか、について解析していきます。

<研究に用いる試料・情報の項目>

カルテの記録

採血、尿検査

胸部レントゲン、CT、MRI、PETCT、骨シンチグラムなどの画像検査

また胃カメラや大腸カメラ、気管支鏡検査、骨転移に対する骨生検や手術時に採取した病変の病理組織診断(顕微鏡検査結果)などの情報

<お問い合わせ窓口>

整形外科 小島敏雄

〒173-8610 東京都板橋区大谷口上町 30-1 日本大学医学部附属板橋病院 整形外科

03-3972-8111 (内線) 2493 (PHS) 8715